

<議案第5号>

令和4年度鈴鹿市地域公共交通計画の評価等結果

目標	評価指標	目標値 (令和9年度)	目標を達成するための施策	調査方法	達成状況・分析	評価	次年度に向けた課題や取組
①路線バス利用者数を回復する	三重交通鈴鹿管内路線の利用者数	1,288千人 (令和元年度水準)	地域間幹線バス、廃止代替バスの運行を維持し、市内の拠点と隣接する都市を結ぶ路線を確保	バス事業者の有する乗降データを用いて計測	・1,045千人 ・令和3年度 954千人に対して、令和4年度は約9.5%利用者が回復した。 ※令和2年度:935,100人 ※令和3年度:954,300人 ※令和4年度:1,045,000人	未達成	・新型コロナの影響等により路線バスの利用者が減少し、現状の路線、運行便数においては、コロナ前の8割程度しか利用者数は回復しないと見込んでいる。 ・地域住民だけでなく市外からの来訪者の利用を促すために、交通事業者と連携して、利便性向上に繋がる取組を検討するとともに、情報発信やバスの乗り方教室等を実施していく。
②C-BUS利用者数を回復する	C-BUSの利用者数	232千人 (令和元年度水準)	C-BUSの運行を維持し、必要に応じて路線や運賃体系の見直しを行い、市内の拠点間を結ぶ路線を確保	市が有する乗降データを用いて計測	・188千人 ・令和3年度182千人に対して、令和4年度は約3.3%利用者が回復した。 ※令和2年度:178,323人 ※令和3年度:182,327人 ※令和4年度:188,356人	未達成	・C-BUSの利用者は回復傾向にあるが、運行維持に必要な市の財政負担額が年々増加しており、さらなる利用者の獲得や収支率の増加を図る取組が求められている。 ・利用者、住民のニーズ等を踏まえて路線や運行時刻の見直し等、C-BUSのあり方を検討していくとともに、地域住民の利用を促すための、情報発信やバスの乗り方教室等を実施していく。
③鉄道利用者数を回復する	伊勢鉄道、近鉄鈴鹿線の利用者数	2,600千人 (令和元年度水準)	主要バス停や鉄道駅における待合環境の安全性・快適性の向上や乗継の利便性の向上を図る	鉄道事業者の有する乗降データを用いて計測	・2,315千人 ・令和3年度2,103千人に対して、令和4年度は約10%利用者が回復した。 ※令和2年度:1,976,571人 ※令和3年度:2,102,808人 ※令和4年度:2,314,547人	未達成	・新型コロナの影響で鉄道の利用者が減少し、コロナ収束後においても、コロナ前の8割程度までしか利用者が回復しないと見込んでいる。 ・安全運行に必要なとなる車両更新や維持管理に必要な経費の確保が困難な状況にあるため、収入の増加が求められる。 ・地域住民だけでなく市外からの来訪者の利用を促すために、各種イベント・キャンペーンの実施、待合環境の改善、乗継利便の向上を図る取組を検討していく。
④地域における主体的な取組を支援する	令和4年度以降、行政と協働し、地域における移動手段の導入について検討した地域づくり協議会の数	4つ (令和9年度までに)	新たな移動手段の確保に向けた手順やルール、行政による支援内容等を明記した「手引書」を作成し、地域が主体となって移動手段を検討・導入できるよう取組体制・支援体制を構築する	令和4年度の市の取組からカウント	・未実施 ・行政と協働して、移動手段を検討、又は導入に向けて取り組んだ地域組織はなかった。	未達成	・市内の公共交通空白地域等で移動手段の確保が求められている。 ・地域の実情に応じた移動手段を導入していくことが望ましいことから、地域のことを把握している地域組織が主体となり、新たに移動手段を検討・導入していく際の手順や行政の支援内容を示した「手引書(ガイドブック)」を作成し、地域の取組を支援していく。
⑤利用促進の取組を増やす	利用促進の取組の実施回数	年間6回 (令和元年度水準)	地域公共交通に関する情報発信、出前講座やイベント・キャンペーンの実施等により、地域公共交通の利用を促し、維持・確保を図る	令和4年度の市の取組からカウント	・4回 ・バスの乗り方教室を実施し、そのうち、地域公共交通を利用していない人を対象とした教室を1回、高齢者等の将来利用する可能性のある人を対象とした教室を1回実施した。また、2路線で利用促進のチラシを作成配布した。	未達成	・市民19万5,670人のうち、20～79歳が13万3,640人、市内の自家用車の保有台数は13万2,564台を踏まえると、市民の約65%が自家用車で移動している実態(令和2年度)があり、地域公共交通の利用者の増加を図るためには、日常生活における移動に地域公共交通を利用するきっかけを創出する取組が求められる。 ・交通事業者をはじめとする関係者と連携し、情報発信や出前講座、各種イベント・キャンペーン等を実施していく。

<議案第6号>

令和5年度鈴鹿市地域公共交通会議補正予算(第1号)

【歳入】

(単位:円)

科目			補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A)+(B)	備考
款	項	目				
1 負担金	1 負担金	1 負担金	652,000	356,000	1,008,000	鈴鹿市負担金
2 補助金	1 補助金	1 国庫補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	248	0	248	
4 諸収入	1 雑入	1 雑入	0	0	0	
合計			652,248	356,000	1,008,248	

【歳出】

(単位:円)

科目			補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A)+(B)	備考
款	項	目				
1 運営費	1 会議費	1 会議費	652,248	356,000	1,008,248	交通会議委員報酬 240千円 委員旅費 90千円 会議用お茶代 5千円 振込手数料 21千円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	0	0	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
4 諸支出金	1 償還金	1 償還金	0	0	0	
合計			652,248	356,000	1,008,248	